

- 自主提案作品 -

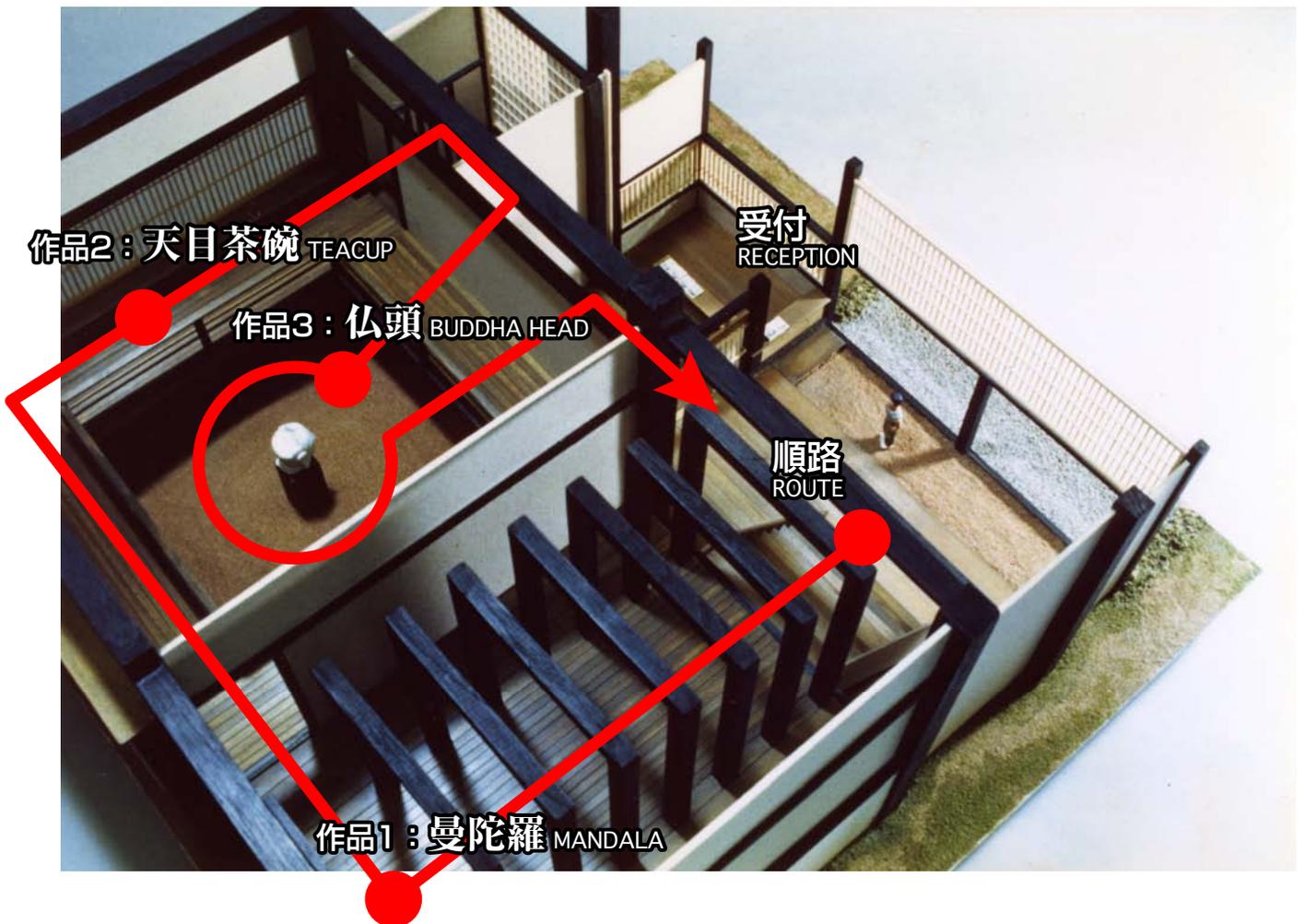
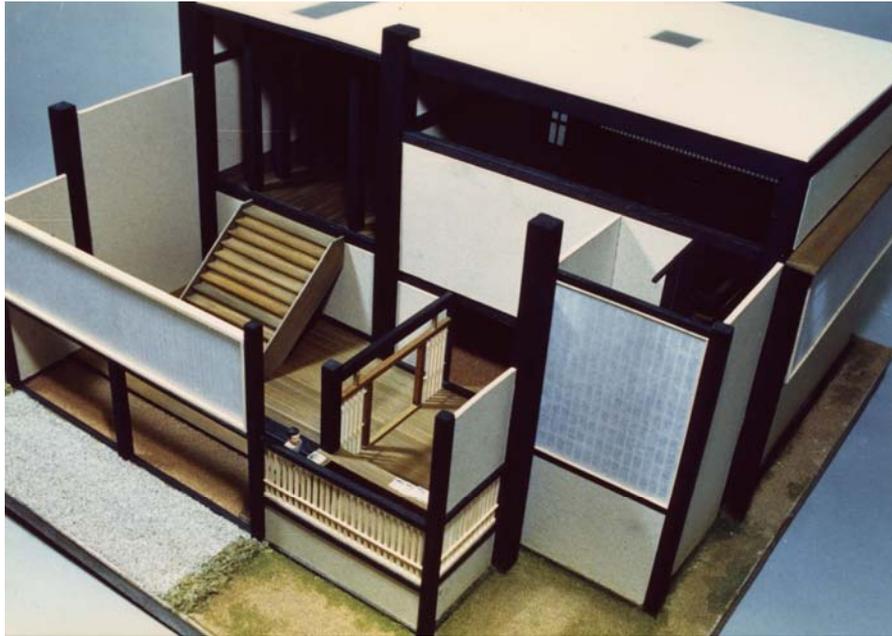
美術館

展示物：曼陀羅・天目茶碗・仏頭



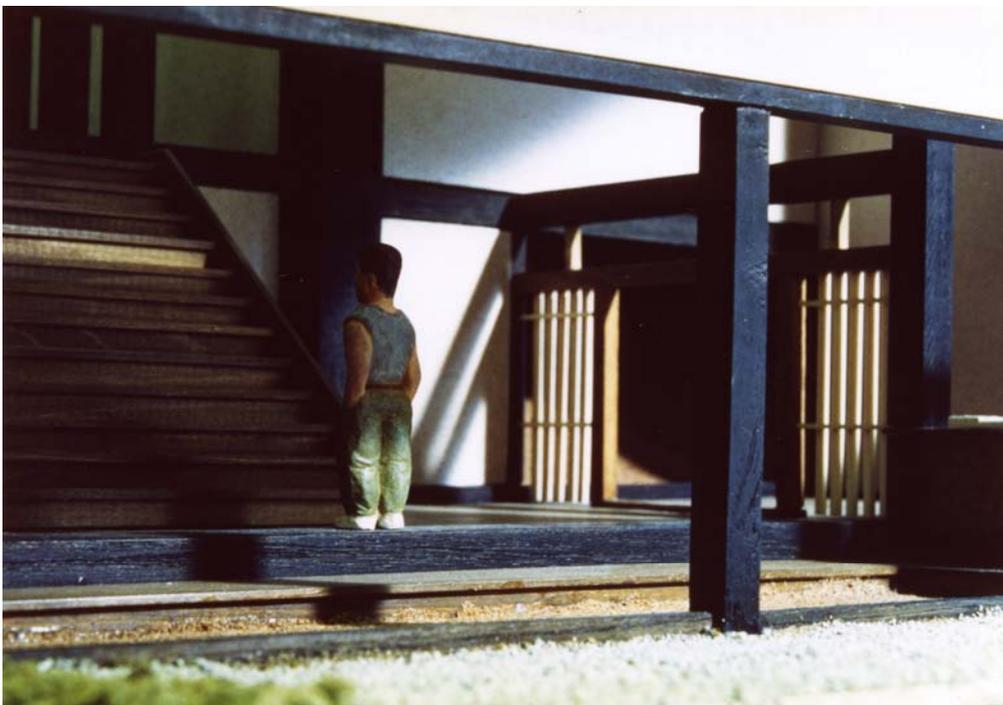
うし

usi





受付 RECEPTION



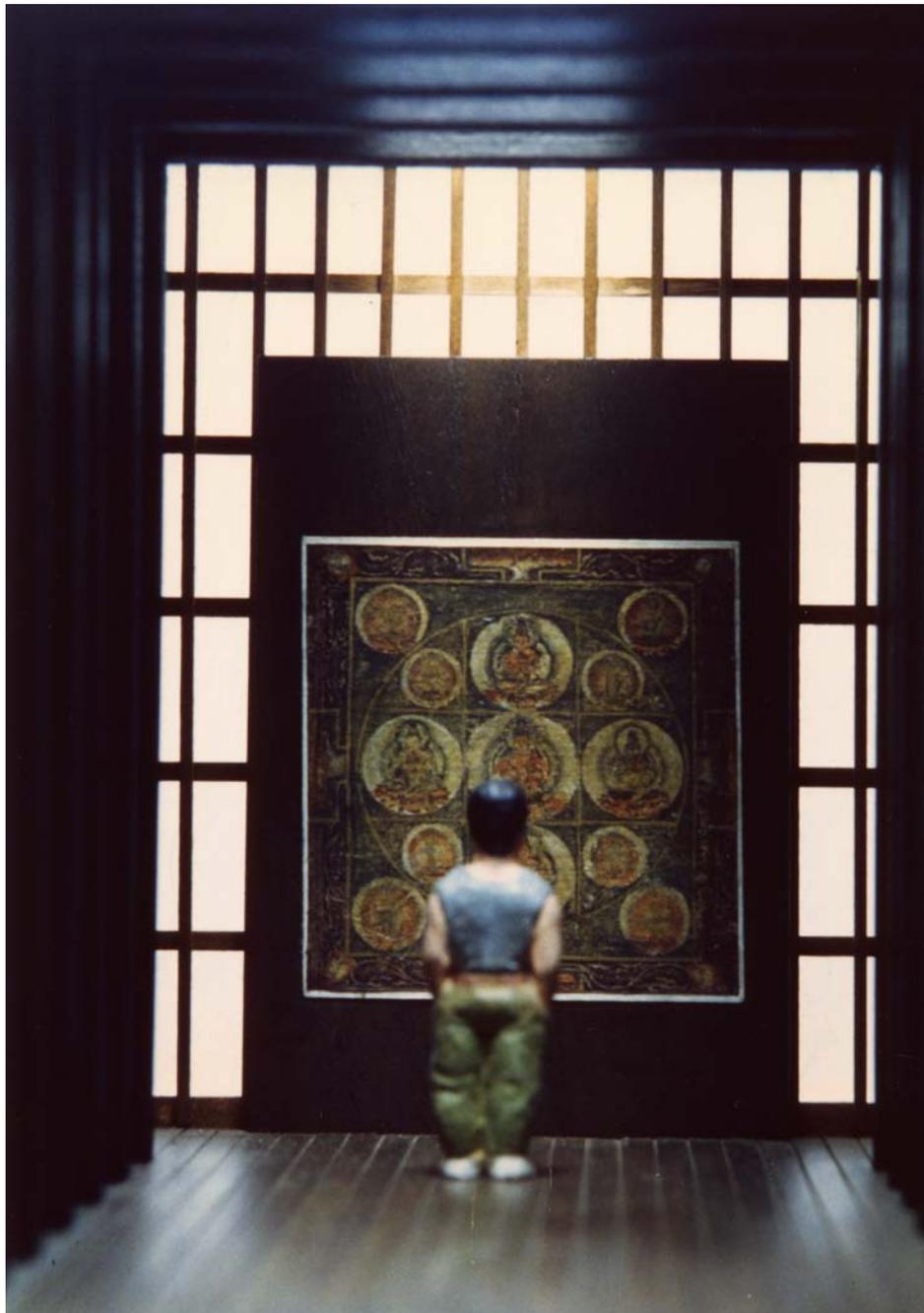
順路 ROUTE



階段の向こうに何かが見える…



鳥居を模した神秘的な廊下の向こうには、曼陀羅が展示してある



作品1：曼陀羅 MANDALA

画面に諸仏を描いた図形や象徴的に表した記号を特定の形式で配置し、
悟りの世界や仏の教えを示した図絵。

作品2：天目茶碗



隣の展示場へ移ると回廊になっている

作品は全て障子紙の透過光で鑑賞するよう演出している。
いにしえの人々がその作品を見た当時と同じ条件下で見ることにより、
日本文化に裏付けられた本来の「美」を感じとってもらう工夫である。



作品2：天目茶碗 TEACUP

浅いすり鉢形をした抹茶茶碗。
茶の湯で貴人用・台子点前用に用いられ、高台が小さいため必ず天目台にのせる。



回廊の中心に目を移すと下に何かある…



360度どこからでも鑑賞できる



作品3：仏頭 BUDDHA HEAD

天武14年（685）に天皇が亡き蘇我倉山田石川麻呂のために造立した
飛鳥山田寺講堂本尊像の頭部。



回廊脇の階段を下りて間近で鑑賞



作品3：仏頭 BUDDHA HEAD



土間は山になっているので、作品から離れると下から鑑賞できる。
最も下から見ると仏像本来の姿の高さとなる。



出口 EXIT